

# 萩市議会のしおり

令和4年度



萩市議会事務局



## 萩市民憲章

(平成18年11月11日制定)

わたくしたちは、明治維新胎動の地、萩の市民です。この誇るべき歴史と美しい自然が織りなすふるさとを愛し、心のよりどころとなる、あたたかいまちをめざして、この憲章を定めます。

- 一 先人の志と勇気に学び  
歴史と文化を大切にすまちをつくりましょう
- 一 青い海と緑の山を守り  
詩情豊かなまちをつくりましょう
- 一 健やかなこころを育み  
笑顔のあふれる明るいまちをつくりましょう
- 一 互いに助けあい  
安心して暮らせる平和なまちをつくりましょう
- 一 進取の気風を受け継ぎ  
未来に向かって発展するまちをつくりましょう



### 市章

(平成17年11月12日制定)

#### 【コンセプト】

この市章は、萩市のシンボルでもある城下町の土塀の文様をモチーフに、全国の中にあっても一見で「城下町・萩」と認識できるように記号化しました。

## 目次

### I 萩市の概要

○ 市制施行、人口、世帯数、面積、地域別統計、産業別人口割合-----	1
○ 地勢、歴史 -----	2
○ 産業 -----	3
○ 姉妹都市・友好都市、市の木・花・果樹・生物 世界遺産、ジオパーク -----	4

### II 議会の概要

○ 議員の状況 -----	8
○ 議会の構成、議会事務局の構成 -----	9
○ 議会活動の状況 -----	10
○ 報酬等、議会報 -----	13

### III 財政規模

○ 令和4年度予算総括表、財政力指数 -----	14
○ 令和4年度一般会計歳入歳出当初予算 -----	15
○ 議会費 -----	18

### IV 組織及び機構

### V 観光客数統計

### VI 文化財

-----	19
-----	23
-----	23

# I 萩市の概要

- 新市施行 平成17年3月6日
- 人口 男 20,456人  
女 23,695人  
計 44,151人 (令和4年3月31日現在住民基本台帳)  
※うち65歳以上の割合…44.4%
- 世帯数 22,834世帯 ( // )
- 面積 698.31km<sup>2</sup>
- 地域別統計

(単位：人、世帯、km<sup>2</sup>) R4.4.1現在

区分	萩地域	川上地域	田万川地域	むつみ地域	須佐地域	旭地域	福栄地域
人口	34,664	749	2,332	1,264	2,239	1,411	1,492
(男)	16,024	360	1,085	616	1,043	660	668
(女)	18,640	389	1,247	648	1,196	751	824
世帯数	17,881	421	1,188	675	1,212	701	756
面積	138.29	93.22	78.13	69.66	87.15	134.04	98.30

※地域ごとの面積は参考値

## ○ 産業別人口割合 (令和2年国勢調査)

区分	萩地域	川上地域	田万川地域	むつみ地域	須佐地域	旭地域	福栄地域
就業者数	16,699	394	1,130	679	1,065	668	760
一次産業	7.9%	15.5%	25.5%	45.7%	22.5%	22.9%	35.4%
二次産業	18.1%	29.2%	20.7%	10.9%	20.6%	20.1%	14.1%
三次産業	74.0%	55.3%	53.8%	43.4%	56.9%	57.0%	50.5%

※割合は、小数点第2位を四捨五入したもの

※就業者数は、分類不能の産業の就業者を除いている。

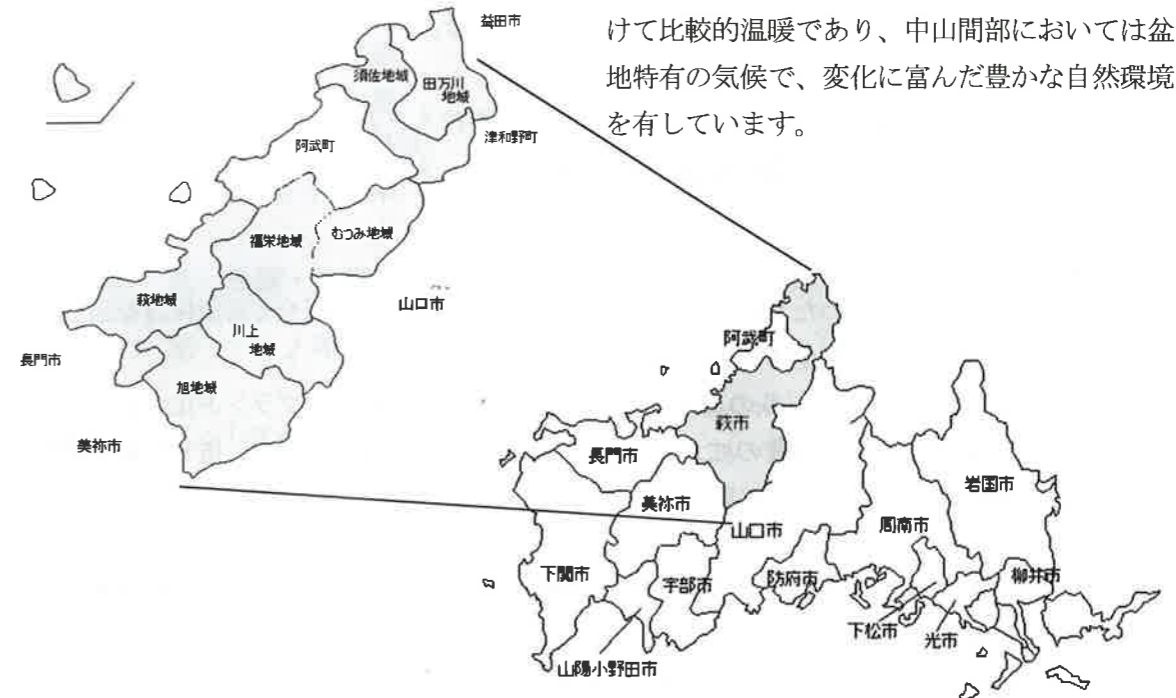
## ○ 地勢

本市は、山口県の北部に位置し、総面積は698.31km<sup>2</sup>で、県土の11.4%に当たります。北部は日本海に面し、東部は益田市(島根県)、津和野町(島根県)、阿武町、南東部は山口市、西部は長門市、美祢市に接しています。

地形は、全体として東部の中国山地から北西部の日本海に向かう傾斜地で、南部市境界付近に標高700mを超える山々が連なっています。低地は少なく、阿武川河口部に形成された三角州にある市街地とその周辺地に見られ、丘陵地は、田万川地域から須佐地域にかけての臨海部に比較的なだらかに広がっている程度で、大半を山地が占めています。

日本海の沖合いには、大島、相島、櫃島、羽島、肥島、尾島の六つの平らな火山島が浮かび、およそ45km先には見島があります。そのうち見島、大島、相島、櫃島は有人島です。

気候は、沿岸部においては対馬海流の影響を受けて比較的温暖であり、中山間部においては盆地特有の気候で、変化に富んだ豊かな自然環境を有しています。



## ○ 歴史

古くは日本書紀にも見られる長門国の五郡の一つ「阿武郡」にさかのぼります。10世紀前後には長門国阿武郡は周防国とともに後白河院の知行する阿武御領と呼ばれるようになり、東大寺の再建の際には東大寺造営料国として用材の切り出しが行われ、阿武川・大井川流域にはそれにつわる言い伝えも残されています。

1604年、居城を広島から萩に移した毛利輝元は、三角州に城下町を建設し、以来、廃藩置県に至るまでの260年余り、毛利36万石の城下町として発展しました。幕末には、吉田松陰など明治維新の原動力となった人材を数多く輩出しました。

明治に入り、萩藩は山口藩となり、徳山藩を統合し、廃藩置県によって山口県・豊浦県・岩国県・清末県が置かれ、その後4県が統合して今の山口県が誕生しました。明治22年の「明治の大合併」では、阿武郡内に22の町村が誕生しました。その後、いくつかの町村統合がなされ、昭和30年には「昭和の大合併」が行われました。この2つの市町村合併により、現在の萩市の基となった旧萩市・川上村・田万川町・むつみ村・須佐町・旭村・福栄村が編成され、平成17年3月6日には、この1市2町4村が合併し、新「萩市」となり現在に至っています。

## ○ 産 業

### 《農林水産業等》

萩市の産業別人口は、第一次産業7.9%、第二次産業18.1%、第三次産業74.0%（令和2年国勢調査）となっています。

#### ▽農業

県下屈指の農業振興地域に位置づけられ、ブランド産品としては良質・良食味の「コシヒカリ」を始め、「千石台大根」、「山口あぶトマト」、「黒毛和牛」、「萩たまげなす」、「夏みかん」、「相島すいか」などが生産されており、一部海外へも輸出されています。さらに、肉用牛の繁殖・肥育経営といった畜産業も盛んな地域で、県内最大規模の肉用牛肥育農場が整備されています。また、既存法人の連携・規模拡大を促進するなか、酒造業、畜産業との連携による「酒造好適米」、「飼料用米」などの生産をはじめ、鳥獣被害防止対策を強力に推進し、農地フル活用による需要のある作目への転換誘導に取り組んでいます。

#### ▽林業

適正な森林施業の推進のため林内路網整備等の支援を行うとともに、伐期適齢を迎えた「スギ」、「ヒノキ」などの豊富な森林資源の流通促進のため、ストックヤードを整備し需要に即応できる体制強化を図ることとしています。

#### ▽水産業

萩の水産資源を将来にわたり持続的に保存・活用するため、漁場保全や資源保護を図るとともに、藻場や河川の環境保全等に取り組んでいます。

また、「萩の瀬つきあじ」、「萩の真ふぐ」、「萩の金太郎」等、萩の魚ブランド化の推進による付加価値の定着と販路及び消費の拡大を図ることで魚家経営の安定に努め、併せて観光客等を対象とした地魚の消費拡大に取り組んでいます。

#### ▽商工業

豊饒な資源を有する日本海や、肥沃で豊かな土壌の恵みから生み出される水産・農産加工業、観光資源による観光サービス業などが主要産業となっています。また、「一楽二萩三唐津」と呼ばれ、我が国屈指の焼き物である「萩焼」が有名です。活力ある地域産業を再生するため、萩ブランドの構築や販路拡大などによる利益を生み出す仕組みづくりを推進するとともに、雇用の拡大、また、起業・創業や企業誘致の積極的な取り組みを行っています。

#### ▽観光

萩市は「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」といわれるほど、毛利藩政期に形成された城下町のたたずまいが都市遺産として今なお現存しているまちです。また、吉田松陰をはじめ高杉晋作や木戸孝允など近代日本を切り開いた人々を輩出した「明治維新胎動の地」です。さらには、須佐ホルンフェルスや笠山に代表される北長門海岸国定公園指定の美しい海岸線、国指定天然記念物の明神池、国指定名勝の長門峡など、すばらしい自然にも恵まれています。

萩市は、これらの歴史・文化遺産、自然を保存・活用したまちづくり、観光地づくりに取り組んでおり、平成27年7月には、「萩反射炉」、「恵美須ヶ鼻造船所跡」、「大板山たたら製鉄遺跡」、「萩城下町」、「松下村塾」の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産に登録され、平成30年9月には「萩ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。また、水の都・萩の景観を川から眺める「萩八景遊覧船」や、「はぎ温泉」をはじめとした「萩温泉郷」、旬の地産食材を利用した「萩の食」によるおもてなし、須佐ホルンフェルスや笠山などのジオサイトを活用した「学ぶ観光」・「教育観光」など魅力ある萩の地域資源を活用し、見る、触れる、楽しむといった滞在型・体験型観光を推進しています。

## ○ 姉妹都市・友好都市

### 《姉妹都市》

海外	蔚山広域市（大韓民国）	提携日：昭和43年10月29日
	ユーリングゲン・ビルゲンドルフ（ドイツ連邦共和国）	提携日：平成4年6月12日
	徳津面（大韓民国）	提携日：平成15年6月18日
国内	下田市（静岡県）	提携日：昭和50年10月28日
	鎌倉市（神奈川県）	提携日：昭和54年11月2日
	輪島市（石川県）	提携日：平成2年10月16日

### 《友好都市》

海外	台北市士林区（台湾）	提携日：平成28年10月3日
国内	世田谷区（東京都）	提携日：平成8年10月26日
	前橋市（群馬県）	提携日：平成14年12月18日
	周南市（山口県）	提携日：平成15年10月22日
	鹿児島市（鹿児島県）	提携日：平成28年1月21日
	石巻市（宮城県）	提携日：平成28年4月8日

## ○ 市の木・花・果樹・生物（平成18年11月11日制定）

市の木 「ヒノキ」、「マツ」

市の花 「ツバキ」、「ハギ」

市の果樹 「ナツミカン」

市の生物 「ホタル」

## ○ 世界遺産（平成27年7月8日登録）

日本は、幕末における西洋技術の導入以来、西欧以外の地域で初めて、かつ、極めて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げ、産業化を達成しました。明治日本の産業革命遺産は、製鉄・製鋼、造船、石炭産業の重工業部門に西洋技術を移転し、成功した日本独自のプロセスを示すもので、日本が「ものづくり大国」となる基礎をつくった歴史を物語っています。

このように世界史上の奇跡と呼ばれる日本の産業化を現している8県11市に点在する23の構成資産が、今回、一体となって世界文化遺産に登録されました。

萩の産業遺産群は、産業技術導入の最初期のもので、「萩反射炉」、「恵美須ヶ鼻造船所跡」、「大板山たたら製鉄遺跡」、「萩城下町」、「松下村塾」の5つの資産で構成されています。幕末に西欧の技術を取り入れ産業化を目指した萩（長州）藩の全体像とその特質を明瞭に現していることに大きな価値があります。



○ 世界遺産…萩市の構成資産



萩反射炉…

西洋式の鉄製大砲鑄造を目指した萩（長州）藩が、1856年に建設した反射炉の遺跡。萩（長州）藩から佐賀藩に派遣された大工棟梁が持ち帰った反射炉の見取図を基に、試作的に建設された。萩（長州）藩は、結局は技術面、費用面の限界から本式の反射炉の建設を中止したが、試行錯誤しながら自力で西洋技術を取り入れようとした産業化初期の段階の取り組みの様子を物語っている。



恵美須ヶ鼻造船所跡…

幕府の要請や木戸孝允の意見により、萩（長州）藩が設けた造船所の遺跡。藩は伊豆の戸田村や長崎海軍伝習所に船大工ら技術者を派遣し、西洋技術の情報を得て伝統的な和船の建造技術を使って、2隻の西洋式軍艦（1856年に丙辰丸、1860年に庚申丸）を建造した。



大板山たたら製鉄遺跡…

日本の伝統的な製鉄方法である、たたら製鉄の遺跡。萩（長州）藩が西洋式軍艦「丙辰丸」を建造する際に用いた船釘などの原料にした鉄を供給しており、幕末の西洋式軍艦建造に当時の日本の在来技術が利用されたことを示している。



萩城下町…

萩城下町は、幕末に産業化に取り組み、産業文化を形成していった当時の地域社会を現している。毛利輝元が建設した萩（長州）藩の政治・行政の中心であった萩城の跡（城跡）、藩の産業化や技術獲得などの政策を遂行した、身分が高い武士の屋敷等があった旧上級武家地、当時の経済的な様相を現在に伝えている旧町人地の3つの区域によって構成される。



松下村塾…

萩（長州）藩の兵学者吉田松陰が主宰した私塾。吉田松陰は実家の杉家に謹慎していた1856年から門人への指導を開始し、1857年に現存する塾舎に移った。1858年に閉鎖されるまでの約2年10ヶ月の間に約90名の門人に指導を行った。松下村塾は、産業化に取り組み、産業文化を形成していった当時の地域社会における人材育成の場であった。吉田松陰が提唱した工学教育論は、工学の教育施設を設立し、在来の技術者を総動員して自力で産業近代化の実現を図るというもので、その教えを受け継いだ塾生らの多くが、後の日本の近代化・産業化の過程で重要な役割を担った。

○ 日本ジオパーク（平成30年9月20日認定）

平成30年9月20日、萩ジオパークが日本ジオパークに認定されました。

日本には、46か所の日本ジオパークがあり、うち9か所がユネスコ世界ジオパークに認定されています。

萩ジオパークのエリアは、萩市と阿武町全域、山口市阿東地域で、3つの時代（白亜紀から古第三紀、新第三紀中新世、第四紀）のマグマ活動によって作られた地形と、そこで育まれた文化や歴史を含む、大地と人の暮らしの結びつきを知ることができる地域です。

萩のジオサイトは、国定公園となっている日本海岸沿いをはじめ、時代の異なる火山活動の遺産として非常に魅力的なサイトが多数存在しており、萩市街地の土台である三角州の形成までのストーリーや、3つの時代のマグマ活動によって形作られた地形的な要素、その形成に伴って育まれた文化や歴史、大地からもたらされる海産物や農産物、特産品などの多種多様な恵みと人々の生活との絆があります。

例えば、大陸のマグマは萩を代表する焼物「萩焼」の粘土、日本海のマグマの胎動でできた海底の溶岩流は大漁場、日本列島となってからのマグマの胎動でできた阿武火山群の溶岩台地は農地として利用されています。多様な地質・地形が多様な産業を生み、その結果、江戸時代の一大都市である「城下町」を形成することができたと言えます。

萩ジオパークは、地球の視点で「萩らしさ」が“見える”“伝わる”まちを目指して、活動しています。

《3つのマグマの胎動が彩る萩の大地》

1. 毛利氏が城を築いた指月山は、地下のマグマがゆっくり冷え固まった岩石（花崗岩）の山です。ここでは、日本が約1億年前に大陸の一部だったころの大規模噴火の元のマグマの記憶に触れることができます。萩の大地のほとんどの部分はこの時代のマグマの活動でできました。白砂青松の菊ヶ浜をはじめとする砂浜は花崗岩が風化してできた砂です。



指月山



長門峡

2. 須佐湾周辺では、1500 万年前の海にたまった泥や砂の地層（新第三紀の海成層）とそこに割り込んできたマグマ（貫入岩）、その熱で焼かれたホルンフェルスなどが見られます。また、日本海沖 45km の見島もこの時代の火山活動でできた島であり、海の中には溶岩台地が広がっています。ここでは、日本海が形成されていくときに海面下で繰り広げられていたマグマ活動の記憶に触れることができます。



須佐ホルンフェルス



見島観音崎

3. 萩沖の平らな島々「萩六島」は 20 万年前から 6 万年前にそれぞれ噴火した火山、溶岩台地です。1 箇所につき 1 度の噴火でできた単成火山で、全体では約 50 個の火山が分布し、阿武火山群と呼ばれています。内陸部にも分布し、弥富の「畳ヶ淵」では、一面に柱状節理が見られ、溶岩が谷に沿って流れくだった様子がよく分かります。阿武火山群で最も新しい火山「笠山」は約 8800 年前の噴火ででき、阿武火山群は活火山に指定されています。今も萩の地下深くではマグマがうごめいています。

笠山から見た萩六島



伏馬山



畳ヶ淵



笠山

## II 議会の概要

### ○ 議員の状況 (令和4年5月1日現在)

#### 1. 条例定数・現員数

条例定数 20人

現員数 20人

※地域別 萩 14人 川上 1人 田万川 2人  
むつみ 1人 須佐 1人 旭 1人  
福栄 -

#### 2. 会派別・党派別議員数

会派名	人数	党派構成	地域構成
政風会	7人	無所属 (7)	萩 (6) 田万川 (1)
立志会	7人	無所属 (7)	萩 (4) 田万川 (1) むつみ (1) 川上 (1)
蒼成会	3人	無所属 (3)	萩 (2) 旭 (1)
無会派	3人	公明党 (2) 共産党 (1)	萩 (2) 須佐 (1)

#### 3. 年齢別議員数

最少年齢 31歳

最高年齢 74歳

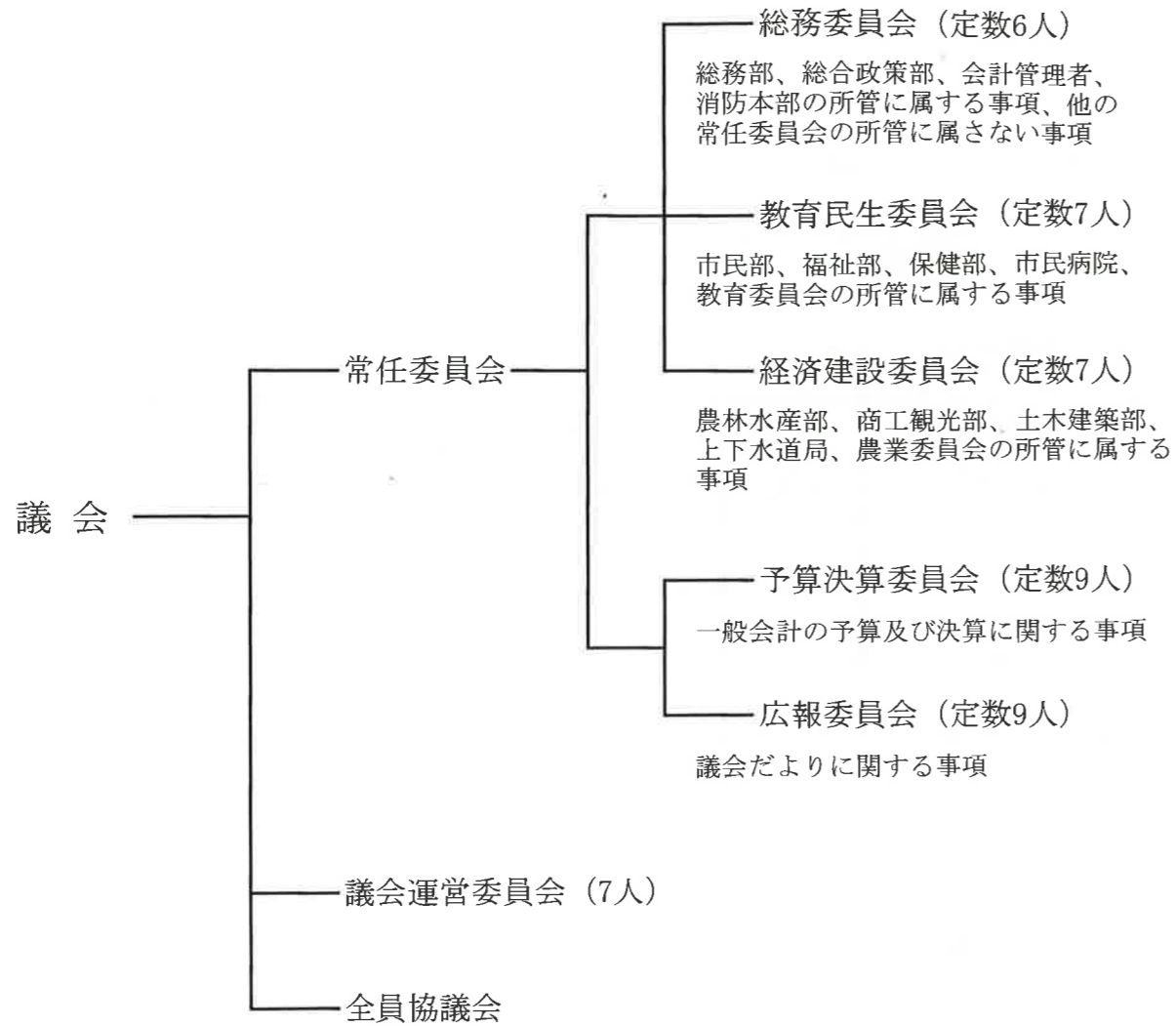
平均年齢 60.6歳

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
1 期						1人	1人
2 期		1人	2人	2人	2人		7人
3 期					4人		4人
4 期			1人	1人			2人
5 期						1人	1人
6 期					3人	2人	5人
計	0人	1人	3人	3人	9人	4人	20人

○ 議会の構成

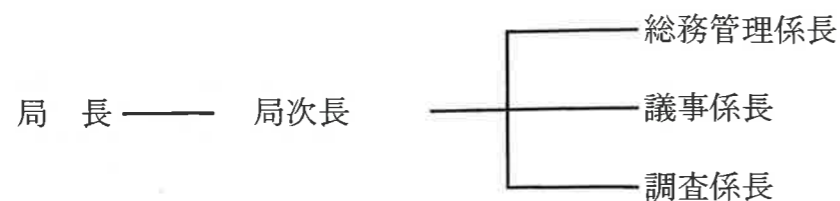
正副議長の任期は申し合わせにより2年

委員会委員の任期は2年（ただし、予算決算委員会及び広報委員会は1年）



○ 議会事務局の構成

定数7名 現員5名



○ 議会活動の状況

1. 本会議の開催状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

会議名	会期	開催日数	会議時間		一般質問者	一般傍聴者数
			日	時間		
3月定例会	自 2. 17 至 3. 9 (21日間)	6日	2月17日	3時間16分	13人	11人
			2月19日	4時間06分		
			2月22日	4時間45分		
			2月24日	4時間06分		
			2月25日	2時間34分		
			3月9日	1時間51分		
	計		20時間38分			
6月定例会	自 6. 9 至 6. 24 (16日間)	7日	6月9日	1時間26分	16人	30人
			6月10日	4時間14分		
			6月14日	4時間47分		
			6月15日	4時間32分		
			6月16日	3時間58分		
			6月21日	0時間16分		
			6月24日	1時間32分		
	計		20時間45分			
9月定例会	自 9. 8 至 9. 29 (22日間)	6日	9月8日	1時間04分	14人	20人
			9月10日	3時間52分		
			9月13日	4時間27分		
			9月14日	4時間25分		
			9月15日	3時間24分		
			9月29日	3時間02分		
	計		20時間14分			
12月定例会	自 11. 30 至 12. 16 (17日間)	6日	11月30日	0時間48分	16人	15人
			12月2日	2時間23分		
			12月6日	5時間25分		
			12月7日	3時間13分		
			12月8日	4時間34分		
			12月16日	3時間06分		
	計		19時間29分			
小計		25日		81時間06分	59人	76人
4月臨時会	自 4. 22 至 4. 22 (1日間)	1日	4月22日	0時間58分	-	2人
			計	0時間58分		
小計		1日		0時間58分		2人
合計		26日		82時間04分	59人	78人

2. 委員会開催状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

委員会名	開催日数	審査件数
議会運営委員会	12日	—
総務委員会	10日	22件
教育民生委員会	13日	39件
経済建設委員会	10日	12件
予算決算委員会	10日	10件
広報委員会	23日	—

※特別委員会の設置無し

3. 議案審査結果

令和3年1月1日～令和3年12月31日

議案区分 会議区分	執行部提出議案	議員提出議案
3月定例会	原案可決(31件) 同意(2件)	
4月臨時会	原案可決(3件) 承認(2件) 同意(3件)	
6月定例会	原案可決(12件) 同意(2件)	原案可決(2件) ※委員会提出
9月定例会	原案可決(8件) 同意(1件) 認定(10件) 承認(1件)	原案可決(1件) ※議員提出
12月定例会	原案可決(22件) 同意(1件)	原案否決(1件) ※議員提出

4. 定例会の審議順序

- (1) 市長提出議案を上程、説明聴取
- (2) 市長提出議案に対する質疑、付託及び議員提出議案、請願の上程、付託
- (3) 一般質問
- (4) 委員会
- (5) 委員長報告、質疑、討論、採決

5. 一般質問

- (1) 通告制の有無 あり
- (2) 通告の時期 招集告示の2日後の正午まで
- (3) 通告内容 質問の要旨
- (4) 時間制限 1人60分以内(答弁を含む)
- (5) 回数制限 なし
- (6) 発言順位 抽選により決定

6. 質疑

- (1) 通告制の有無 あり
- (2) 質疑の方法 議案ごと
- (3) 時間制限 なし
- (4) 回数制限 同一議員による、同一議題について3回
- (5) 発言順位 通告の順

7. 討論

- (1) 通告制の有無 あり
- (2) 通告の時期 前日の15時まで(前日が休日の場合は、平日まで繰り上げる。)

8. 予算・決算の審査方法

(1) 予算

一般会計予算議案に関するものは予算決算委員会に付託の上、審査する。特別会計、企業会計は所管の委員会に付託審査する。

(2) 決算

一般会計決算議案に関するものは予算決算委員会に付託の上、審査する。特別会計、企業会計は所管の委員会に付託審査する。



○ 報 酬 等

1. 議員等の報酬

(単位：円)

改正年月日	平成18年7月1日(現行)	平成17年3月6日(合併時)
議長	420,000	420,000
副議長	345,000	345,000
委員長	332,000	332,000
副委員長	325,000	325,000
議員	320,000	320,000
市長	820,000	860,000
副市長	650,000	680,000
教育長	600,000	620,000

2. 視察旅費

各常任委員会	130,000 円(上限)
議会運営委員会	130,000 円(上限)
特別委員会	60,000 円(上限)

3. 政務活動費

(年額)	120,000 円
(対象)	※改選年度に係る月割規定あり 議員個人

4. 費用弁償

会議出席の際、自宅から市役所までの旅費実費支給  
※5km以上の議員に対し車賃として1kmあたり37円を支給

○ 議 会 報

議会広報誌「萩市議会だより」

発行回数：毎定例会後 年4回 (5/1・8/1・11/1・2/1)

印刷部数：1回あたり 22,800部

編集：広報委員会(常任委員会)

配布先：市内全世帯、姉妹都市など

Ⅲ 財政規模

○ 令和4年度予算総括表

(単位：千円、%)

会計別		本年度予算額	前年度比	前年度予算額		
一般会計		29,880,000	100.0	29,880,000		
特別会計		14,623,800	97.9	14,937,900		
土地取得事業		800	80.0	1,000		
国民健康保険事業(事業勘定)		6,696,500	96.3	6,955,000		
国民健康保険事業(直診勘定)		705,300	97.5	723,700		
休日急患診療事業		104,800	97.1	107,900		
後期高齢者医療事業		992,000	101.2	980,500		
介護保険事業		6,124,400	99.3	6,169,800		
計		44,503,800	99.3	44,817,900		
企業 業 会 計	水道事業	収益的	収入	1,099,000	98.9	1,111,000
		資本的	支出	1,099,000	97.6	1,126,000
	下水道事業	収益的	収入	640,240	112.2	570,409
		資本的	支出	999,712	118.4	844,051
	病院事業	収益的	収入	2,097,000	99.6	2,106,000
			支出	2,097,000	99.6	2,106,000
		資本的	収入	1,118,000	81.3	1,376,000
			支出	1,608,000	85.8	1,874,000
	計		収入	2,863,254	105.6	2,711,924
			支出	2,938,877	102.0	2,882,665
			収入	416,117	92.7	448,768
			支出	536,079	94.4	568,200
計				9,278,668	98.7	9,400,916
合計				53,782,468	99.2	54,218,816

- 経常収支比率(令和2年度) ..... 92.1%(決算)
- 財政力指数(令和2年度) ..... 0.329(3か年平均)
- 実質公債費比率(令和2年度) ..... 5.4%(単年度)
- 将来負担比率(令和2年度) ..... 1.8%

○ 令和4年度一般会計歳入歳出当初予算

1. 歳入

(単位：千円、%)

款		本年度予算額	構成比	前年度予算額
自主財源	市 税	5,075,620	17.0	5,026,275
	分担金及び負担金	287,670	1.0	272,771
	使用料及び手数料	485,250	1.6	483,550
	財産収入	116,882	0.4	95,045
	寄附金	207,840	0.7	208,640
	繰入金	2,150,765	7.2	1,943,696
	繰越金	1	0.0	1
	諸収入	759,109	2.5	875,695
	小計	9,083,137	30.4	8,905,673
	依存財源	地方譲与税	344,700	1.2
利子割交付金		5,000	0.0	8,000
配当割交付金		20,000	0.1	7,000
株式等譲渡所得割交付金		8,000	0.0	10,000
法人事業税交付金		40,000	0.1	7,000
地方消費税交付金		1,000,000	3.3	952,000
ゴルフ場利用税交付金		3,000	0.0	3,000
環境性能割交付金		25,000	0.1	31,000
地方特例交付金		20,000	0.1	88,000
地方交付税		11,850,000	39.7	11,250,000
交通安全対策特別交付金		5,500	0.0	5,500
国庫支出金		2,962,500	9.9	2,806,124
県支出金		2,419,763	8.1	2,399,503
市債	2,093,400	7.0	3,138,900	
小計	20,796,863	69.6	20,974,327	
歳入合計	29,880,000	100.0	29,880,000	

2. 歳出

(単位：千円、%)

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額
議会費	196,956	0.7	198,565
総務費	4,494,245	15.0	4,543,709
民生費	8,767,885	29.3	8,801,046
衛生費	2,798,185	9.4	2,701,829
労働費	24,293	0.1	24,477
農林水産業費	2,190,196	7.3	2,015,087
商工費	2,232,455	7.5	2,432,149
土木費	1,832,052	6.1	1,740,937
消防費	1,472,490	4.9	1,558,580
教育費	2,573,709	8.6	2,455,474
災害復旧費	17,212	0.1	7,000
公債費	3,230,322	10.8	3,351,147
予備費	50,000	0.2	50,000
歳出合計	29,880,000	100.0	29,880,000

3. 性質別財政状況

(単位：千円、%)

区 分		本年度予算額	構成比	前年度予算額
義務的経費	人件費	5,940,301	19.9	5,821,768
	扶助費	4,376,933	14.7	4,453,000
	公債費	3,230,322	10.8	3,351,147
	小計	13,547,556	45.4	13,625,915
投資的経費	普通建設事業費	2,922,992	9.8	2,946,438
	補助	1,305,299	4.4	1,070,382
	単独	1,617,693	5.4	1,876,056
	災害復旧事業費	17,382	0.0	6,839
	補助	10,518	0.0	—
	単独	6,864	0.0	6,839
	受託事業費	—	—	—
	補助	—	—	—
	単独	—	—	—
	県営事業負担金	205,543	0.7	217,012
	小計	3,145,917	10.5	3,170,289
その他の	物件費	4,030,178	13.5	3,782,355
	維持補修費	305,645	1.0	271,479
	補助費等	4,322,389	14.5	4,230,077
	積立金	317,999	1.0	489,086
	投資及び出資金	568,827	1.9	561,776
	貸付金	413,211	1.4	495,215
	繰出金	3,178,278	10.6	3,203,808
	予備費	50,000	0.2	50,000
	小計	13,186,527	44.1	13,083,796
合計	29,880,000	100.0	29,880,000	

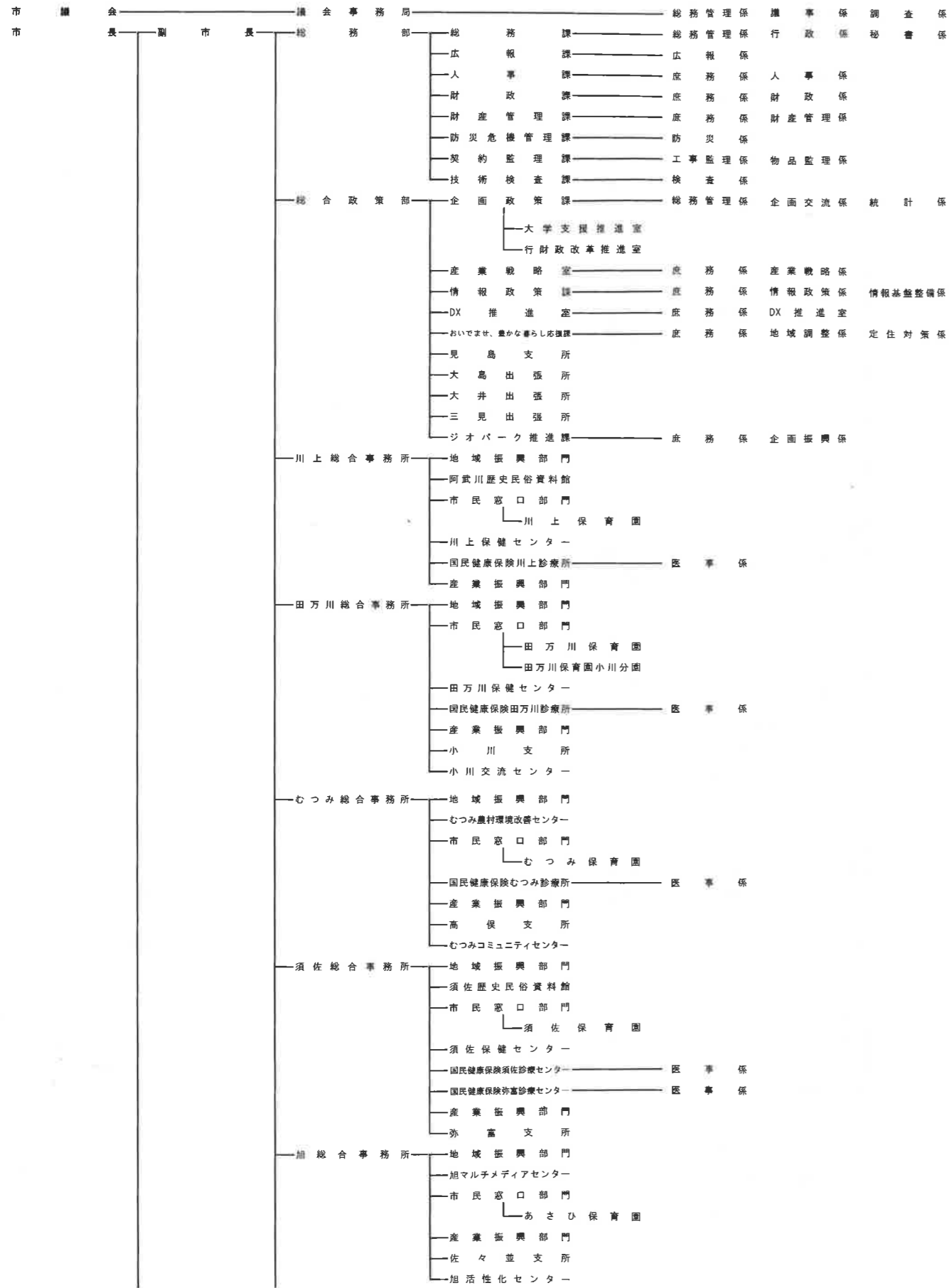
○ 議会費

(単位：千円)

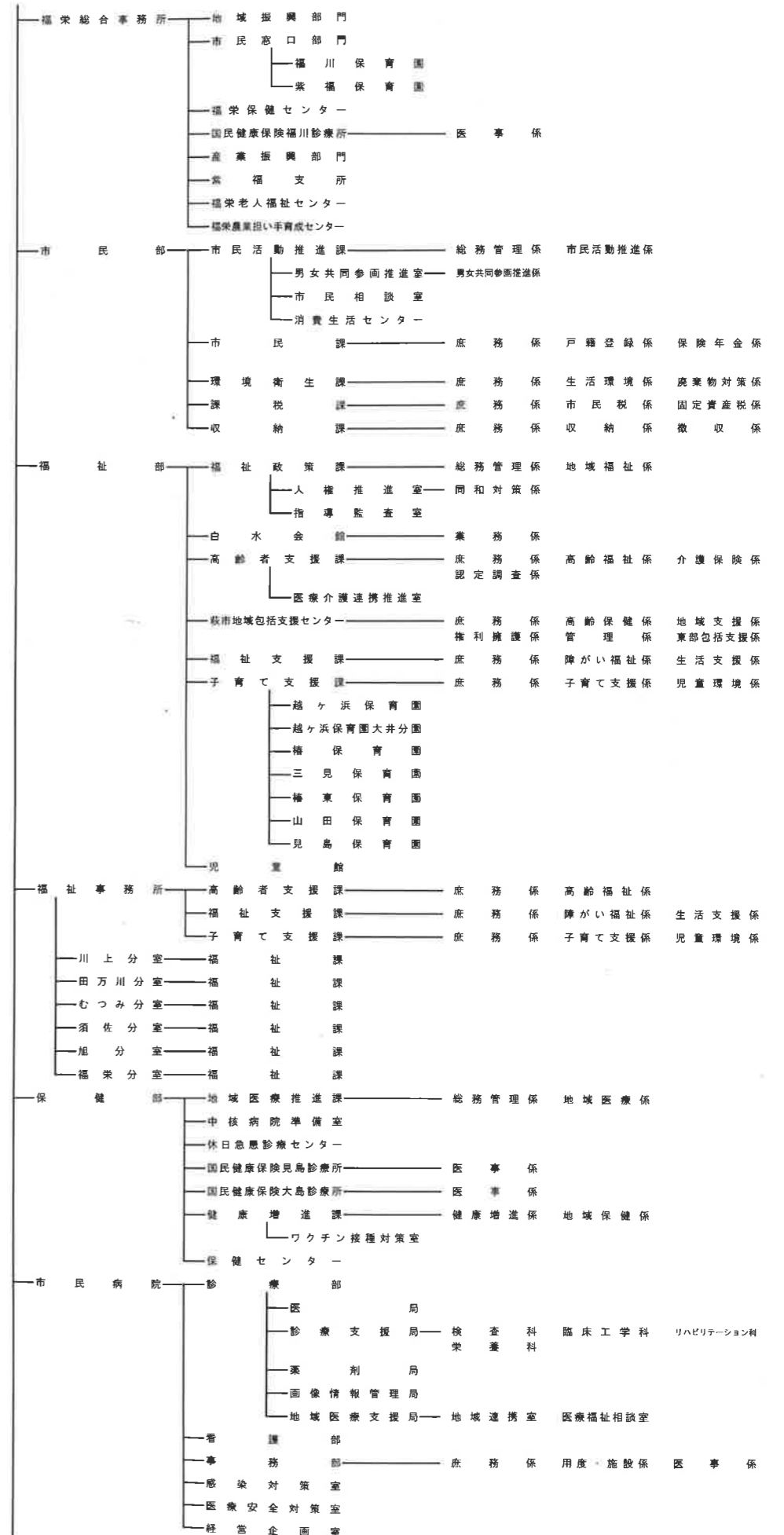
年 度		令和4年度	令和3年度
区 分		当初予算	当初予算
報	酬	79,524	79,524
給	料	22,430	22,622
職	員手当等	40,275	40,402
共	済費	32,665	33,713
報	償費	50	50
旅	費	7,399	7,916
交	際費	2,000	2,000
需	用費	6,268	6,021
内	消耗品費	1,178	1,097
	燃料費	96	99
	食糧費	59	59
	印刷製本費	4,880	4,705
	修繕費	55	61
	役	務費	46
委	託料	451	439
使	用料及び賃借料	2,589	2,569
備	品購入費	36	36
負	担金補助及び交付金	3,223	3,230
合	計	196,956	198,565

一般会計総額 29,880,000 千円  
 議会費の占める比率 0.7 %  
 議会費の対前年度比率 99.2 %

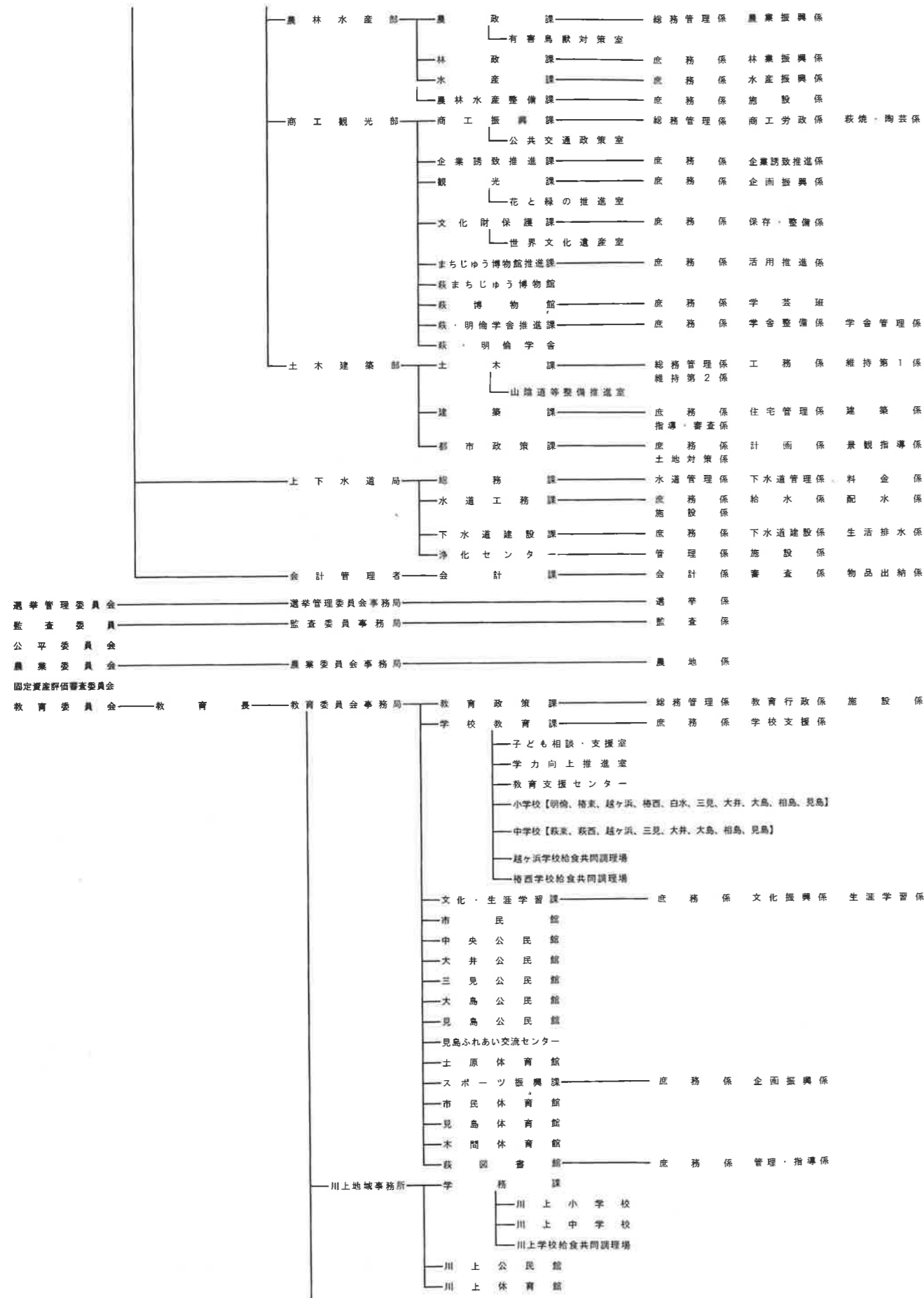
萩市組織図 (令和4年4月1日現在)



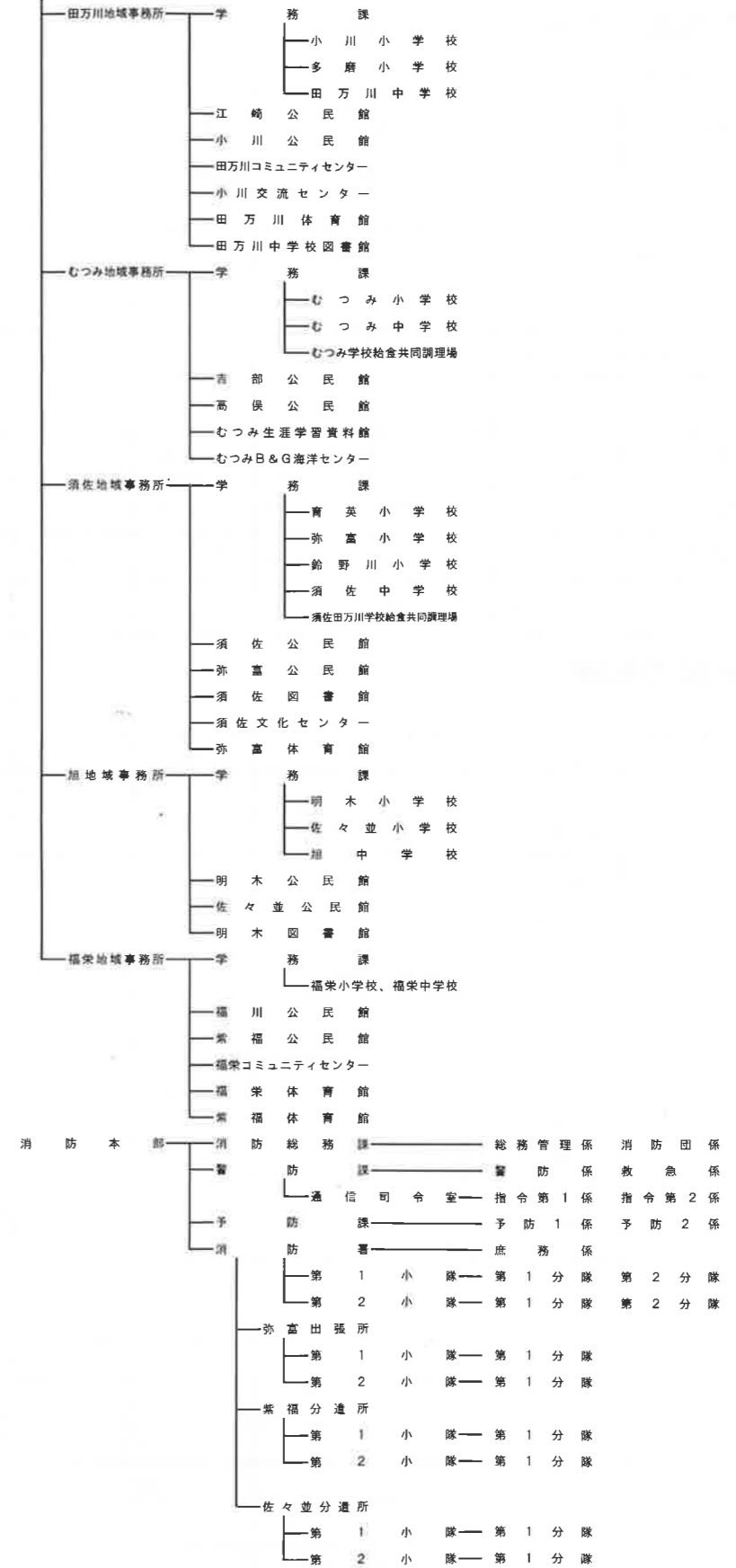
萩市組織図 (令和4年4月1日現在)



萩市組織図 (令和4年4月1日現在)



萩市組織図 (令和4年4月1日現在)



小学校	中学校	小中一貫校
聖徳小学校	萩東中学校	三見小中学校
椿東小学校	萩西中学校	大井小中学校
梅西小学校	むつみ中学校	越ヶ浜小中学校
白水小学校	須佐中学校	大島小中学校
三見小学校	旭中学校	相島小中学校(仮)
見島小学校	福栄中学校	福栄小中学校(仮)
見島ふれあい小学校(仮)		越ヶ浜小学校
鈴野川小学校(仮)		越ヶ浜中学校
むつみ小学校		川上小学校
明木小学校		多磨小学校
空々立小学校		小川小学校
		田万川中学校
		福栄小学校
		10校
		13校

R4.4.1現在

	市民病院・診療所・消防職員を除いた職員数	全職員数
令和4年(2022)4月1日	570人	823人
平成28年(2016)4月1日	584人	858人
平成19年(2006)4月1日	802人	1036人

R4.4.1現在

## V 萩市観光客数統計 (H30～R3)

(人)

		萩地域	川上地域	田万川地域	むつみ地域	須佐地域	旭地域	福栄地域	計
R3	観光客数	2,224,381	167,247	201,905	221,162	95,596	175,903	91,930	3,178,124
	(前年比)	98%	111%	102%	95%	101%	119%	91%	99%
	宿泊客数	225,109	5,459	3,742	62	6,801	2,946	-	244,119
	(前年比)	92%	135%	106%	103%	115%	107%	-	93%
R2	観光客数	2,275,905	150,680	197,495	231,785	94,216	147,999	100,981	3,199,061
	宿泊客数	245,503	4,033	3,522	60	5,911	2,742	-	261,771
R1	観光客数	3,368,474	196,352	250,661	281,052	130,177	176,197	103,662	4,506,575
	宿泊客数	388,656	4,180	3,146	96	6,668	2,663	-	405,409
H30	観光客数	3,513,938	185,353	247,680	234,541	85,100	178,165	102,696	4,547,473
	宿泊客数	410,598	2,957	2,896	105	6,336	1,965	-	424,857

## VI 萩市の文化財

令和4年4月1日現在(件数)

種 類	国指定	県指定	市指定	計	
有形文化財	建造物	8	6	26	40
	絵画	1	1	13	15
	彫刻	3	5	17	25
	工芸品	2	0	13	15
	書跡	1	3	3	7
	典籍	0	0	0	0
	古文書	0	0	1	1
	考古資料	0	2	2	4
	歴史資料	1	1	1	3
無形文化財	芸能	0	0	0	0
	工芸	0	1	1	2
民俗文化財	有形	1	0	3	4
	無形	0	3	10	13
記念物	史跡	14	4	20	38
	名勝	1	0	0	1
	名勝及び天然記念物	1	0	1	2
	天然記念物	7	6	17	30
小 計	40	32	128	200	
記録作成等の措置を講ずべき無形の文化財として選択されたもの	1	0	0	1	
重要伝統的建造物群保存地区(選定地区)	4	0	0	4	
登録有形文化財	8	0	0	8	
歴史的景観保存地区	0	0	7	7	
合 計	53	32	135	220	

編集・発行 萩市議会事務局

〒758-8555 山口県萩市江向 510 番地  
 TEL(0838) 25-3144 (総務管理係、調査係)  
 (0838) 25-3365 (議事係)  
 FAX(0838) 25-3548  
 e-mail gikai@city.hagi.lg.jp



日本の志が

ここにある。

山口県萩市

Discover the Ethos of Japan